

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名：茨城県土浦市立大岩田小学校

活動名：

チーム岩小で授業改善

～道徳を核とした授業力向上に向けて～

解決すべき課題：

児童の学力向上につながる授業力向上を目指し、教員一人一人が主体的に取り組む校内研修体制を構築する。

児童の学力向上は、本校の積年の課題である。そのために学校としてできることは、教員一人一人が自らの授業力を高めていくことである。このことは、本校の組織目標を達成する上でも大切なプロセスの1つである。そこで、カリキュラム・マネジメントの一環として校内研修を充実させ、教職員の共通理解・同一歩調のもと組織的に授業改善に取り組むとともに、研修での学びを各教科の授業力向上につなげられることを目指した。

目標・方針：

- (1)「考え議論する道徳」や、「主体的・対話的で深い学び」を実現する道徳授業づくりの理論について学ぶ。
- (2)市教育委員会実施の「道徳教育アドバイザー配置事業(全5回)」を校内研修プログラムに取り入れる。(資料①)
- (3)教員全員の授業参観を可能にする「相互参観システム」を構築する。
- (4)参加者同士の「主体的・対話的で深い学び」が生み出されるような授業研究会を実施する。

活動内容：

- (1)道徳教育推進教師による講義「考え議論する道徳の授業実践に向けて」の実施(写真①)
- (2)道徳教育アドバイザー配置事業日、市教育委員会訪問指導日を活用した公開授業並びに相互授業参観の実施(写真②、資料②)
- (3)ワークショップ形式による授業研究並びに授業改善に向けての話し合いの実施(写真③、④、⑤)

活動の成果：

- ・1単位時間を通して確実に授業参観ができる体制を構築したことにより、教員一人一人が参観した授業に対する考えを整理し、主体的にワークショップ型研修に参加することができた。
- ・ワークショップ型研修のグループ編成を意図的に行った(若手+ベテラン、授業者+参観者、等)ことにより、話し合いが活性化した。互いの悩みや工夫点などの取組を積極的に発言し合い、授業改善に向けての見方や考え方が深まった。(資料③)
- ・研修での学びを他の教科の授業づくりに生かそうという意識が高まった。

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- ・一人一人が、「授業実践にあたり身に付けたり高めたりしたい力」を挙げ、ワーククラウドを活用して見える可することで、共有化や共感化を図ることができる。
- ・校内研修プログラムを単元計画化(「前回研修の振り返り→本研修→まとめ」の繰り返し)することにより、つながりを意識して研修に参加することができる。
- ・授業力向上研修を充実させる上でも、学習支援ボランティアの有効活用ができる。

写真①:考え議論する道徳の授業づくり



写真②:授業実践並びに相互参観



写真③:研究部による参観の視点検討会



授業参観の視点
 ①子供たちの考えを引き出す発問の仕方や話し合いのさせ方で良い点を見つける。
 ②子供たちが自分の考えを表現できているか(どう表現しているか)を見つける。

資料①:校内研修プログラム

月	種	研修内容
6	全	「考え議論する道徳」の授業づくりを考えよう
7	公・参	道徳教育アドバイザー配置事業①(公開授業 6年1組・6年2組)
7	公・参	道徳教育アドバイザー配置事業②(公開授業 5年1組・5年2組)
8	全	校内研修(授業力向上) 授業参観の視点を考えよう
8	研	授業参観の視点検討
9	公・参	道徳教育アドバイザー配置事業③(公開授業 4年1組)
9	全	校内研修(授業力向上) 授業参観の視点にもとづき授業を
10	公・参	道徳教育アドバイザー配置事業④(公開授業 2年2組・3年2組)
10	公・参	市教育委員会訪問指導(公開授業 3年1組・2年1組)
10	全	校内研修(授業力向上) 授業参観の視点にもとづき授業を考えよう②
11	公・参	道徳教育アドバイザー配置事業⑤(公開授業 1年1組・1年2組)
11	全	校内研修(授業力向上) 授業参観の視点にもとづき授業を考えよう③
12	研	研修のまとめに向けて
12	全	校内研修(授業力向上) 研修のまとめ・振り返り

授業研究は
 ①授業者の授業力向上のため
 ②参観者の授業力向上のため
 という考え方にもとづき、全員公開、全員参観を基本とする計画を作成した。

資料②:相互参観実施計画

1校時4-1 6月30日(水)				2校時4-2 7月7日(水)			
時間	授業	参観	備考	時間	授業	参観	備考
1の1和室	授業	参観	国語	1の1和室	授業	参観	国語
1の2山口	授業	参観	国語	1の2山口	授業	参観	国語
2の1上田	参観	自習	算数	2の1上田	参観	自習	算数
2の2佐藤	参観	自習	算数	2の2佐藤	参観	自習	算数
3の1空室	授業	参観	算数	3の1空室	授業	参観	算数
3の2小森	授業	参観	理科	3の2小森	授業	参観	理科
4の1岡田	公開授業	道徳	道徳	4の1岡田	公開授業	道徳	道徳
4の2栗山	参観	自習	算数	4の2栗山	参観	自習	算数
5の1新宮	授業	参観	外国語	5の1新宮	授業	参観	外国語
5の2田上	参観	自習	算数	5の2田上	参観	自習	算数
6の1赤田	授業	参観	理科	6の1赤田	授業	参観	理科
6の2関	参観	自習	国語	6の2関	参観	自習	国語
さくら野本	授業	参観	算数	さくら野本	授業	参観	算数
わかば東田	授業	参観	算数	わかば東田	授業	参観	算数
ぼづ野田	授業	参観	国語	ぼづ野田	授業	参観	国語
ひまわり平田	授業	参観	算数	ひまわり平田	授業	参観	算数
すずらん相澤	参観	算数	算数	すずらん相澤	参観	算数	算数
はるか小野	授業	参観	算数	はるか小野	授業	参観	算数
坂本	参観			坂本	参観		
鈴木	参観			鈴木	参観		
藤原	参観			藤原	参観		
藤原	参観			藤原	参観		
校長	参観			校長	参観		

学習支援ボランティア(主として地域在住の教員OB・OG、民生児童委員)システムを活用して自習体制を構築し、全担任が1時間を通して参観ができるようにした。

写真④:ワークショップ型研修1



写真⑤:ワークショップ型研修2



資料③:研修参加者の感想から

・ベテランでも若手でも身に付けたいことには共通点が多い。
 ・教師側の視点だけでなく、児童側の視点も考えることが大切だということに気付いた。
 ・教材研究をして、授業を行い、必ず「反省」することが大切だと思った。
 ・他の先生方がどのように考えているかを知るよい機会となった。
 ・グループで話し合ったり、それを発表して皆で共有したりすることはとても大切だと思った。
 ・話し合いを行うことで、日頃疑問に思っていることや感じていることを共有できたり、共感できたりして考えを深めることができる。このような思いを、学習の中で児童にもたくさん経験させられたらと思う。